

持続可能な
地域コミュニティの形成にチャレンジ！

地域コミュニティビジョンの策定に向けて

北九州市 地域振興課



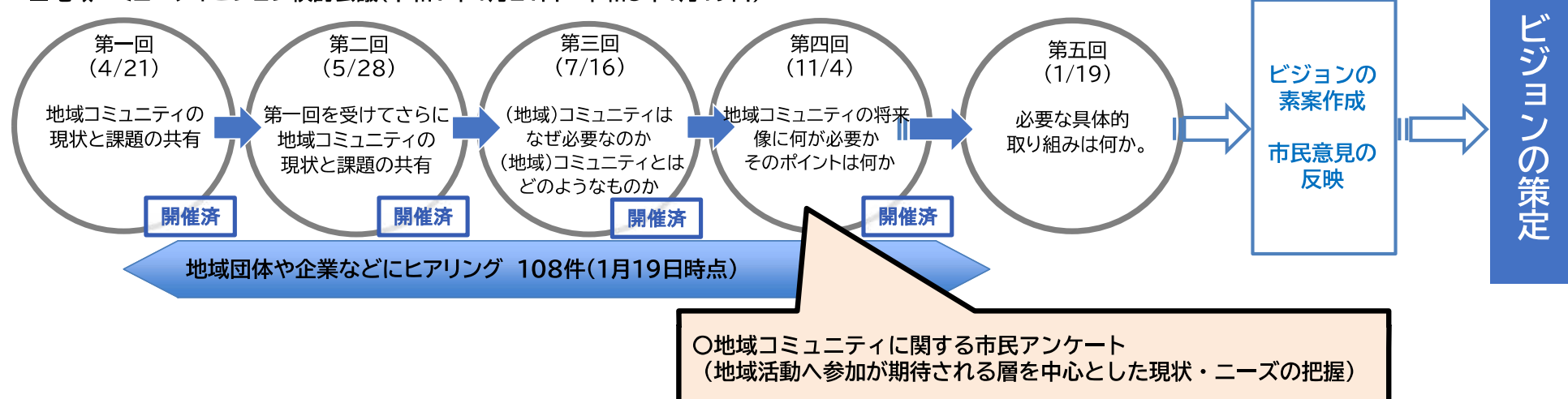
骨太の方針

北九州市地域コミュニティビジョン

未来像「多様な主体による全世代参加型地域コミュニティ」

- ① 望ましい未来像を描き、そこから逆算して課題を解決
- ② 3つの大事な視点
「必要に応じて現状から変化」「関係者の垣根を越えて接続・連携」「好循環を生み出していく」
- ③ 市民性・気質を踏まえた議論を

■地域コミュニティビジョン検討会議(令和7年4月21日～令和8年1月19日)



アンケートから見た将来世代の声

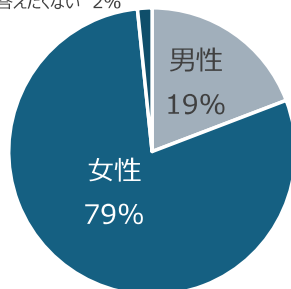
回答数：5,964件

(次の担い手となりうる層)

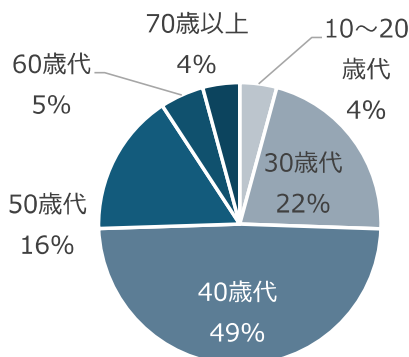
主に子育て世代
の声

性別

選ばない・答えたくない 2%



年代



○地域生活に困りごとがなく、組織への参加の動機づけが難しい層が存在。
(地域の困りごととは何か = 「特に困っていることはない」40%が最多)

○地域活動は、高齢者の参加が多い。(70歳以上62%)
属性別で二世帯世帯(44%)、賃貸マンション(26%)は低い傾向。

○不参加の理由は、「時間・体力がない」が多い。(70.2%)
特に子育て世代は他の世代より「時間・体力がない」の傾向が強い。

○目的・テーマによっては地域外からも参加する。
(地域外活動に参加12%「祭り・イベント」「清掃活動」「子育て活動」)

○地域の困りごとや今後必要な活動は「ごみ」「防犯」「防災」「子育て」など
人の生命・健康と関連するもので、地域活動で得たいものは、「安心・安全」
(地域活動で得たいもの = 「地域全体への安心感・愛着」45.7%が最多)

地域の礎を大切に受け継ぎながら、誰もが参加しやすくしていくには？

検討会議での意見(地域コミュニティの将来像には何が必要か)

- ・子育て世代のアンケートは重要。子どもを地域で育てる視点で地域活動を考えることが大事。
- ・地域活動に参加できる仕組みが必要。子育て世代も隙間時間を活用してアイデア発信したり、活動の意義に共感した人が資金を支援したりする仕組みが重要。
- ・これからはデジタルが重要で、若い人を取り込むには有効。活動のスリム化にもデジタル化は有効。
- ・シニアがデジタルを身につけることで、地域で受け継がれた文化を次世代に引き継ぐことができる。
- ・個々の団体の在り方は、それぞれの団体がビジョンを踏まえて考えていく方が良い。

地域コミュニティの将来像に必要な3つのポイント

「楽しさ」や「興味」から
「やりがい」へ

地域課題の解決に
多様な主体の力を結集

地域活動に
必要な資源が
循環する仕組み

検討会議での意見(将来像を実現するために必要な取組は何か)

「紙の配布はなし、会議はWeb、情報はLINEで十分という例」
「シニアがデジタルを教える側になれる」
「デジタルで感謝を伝える仕組みがあれば、やりがいにつながる」

デジタル技術
の活用



「学校を核にPTA、地域、企業などが関われる形」
「自治会が全部を担うのは限界。NPOや企業と分担が必要」
「若い世代に企画を任せると、同世代が集まりやすい」

地域の連携・
協働機能の強化



「市民センターは、多世代・多様な人が交わる場」
「学校は、子どもだけでなく地域の接点になり得る」
「居場所があること自体が安心感につながる」

地域の拠点・
居場所の確保

「目的や取組が多すぎて、かえって活動が伝わらない」
「行政からの依頼業務が多く、負担。頼むなら対価を」
「地域が本来の役割に集中できる形にすべき」

地域団体の目的や
役割のスリム化・効率化

「補助金だけに頼らない地域活動を考えるべき」
「『ありがとう』のメッセージが、地域活動のやりがいになる」
「人材、時間、情報、お金が地域の中で回る仕組みが必要」

地域型循環システムへ
チャレンジ



議論のまとめ(イメージ)

多様な世代・団体が様々な形で人とつながり、
地域団体もいきいきと活動できる
未来の地域コミュニティづくりの好循環を生み出す

「多様な主体による全世代参加型地域コミュニティ」へ

地域活動に必要な資源が 循環する仕組み

地域型循環システムへチャレンジ

- ①地域で資源が循環するような自走型の仕組みづくりにチャレンジ
- ②住民間のコミュニケーションの多様化・向上

地域団体の目的や 役割のスリム化・効率化

- ①地域団体が担う行政機能の再整理・再構築
- ②地域団体間の役割の整理

地域課題の解決に 多様な主体の力を結集

地域の連携・協働機能の強化

- ①大学やNPO・企業等をつなぐプラットフォームの整備
- ②地域リーダーのスキルアップ・育成や
地域運営の好事例の横展開

地域の拠点・居場所の確保

- ①地域のコミュニティ拠点施設の
整理・確保・多機能化の推進
- ②多世代が集う「サードプレイス」機能の充実

「楽しさ」や「興味」から「やりがい」へ

デジタル技術の活用

- ①参加しやすいコミュニティに向けたデジタル環境の整備

今後の予定

ビジョン策定に向けて素案をまとめ、市民の皆様のご意見を伺います

令和7年度

(検討会議の議論)

現状と課題



(地域)コミュニティは
なぜ必要なのか
(地域)コミュニティとは
どのようなものか



将来像に何が必要か
そのポイントは何か



具体的な
取り組み
は何か

今後の取組

ビジョンの素案作成

(素案についてのご意見)

- ・構成員の意見
- ・関係団体のヒアリング
- ・パブリックコメント
- ・タウンミーティング

ビジョンの策定

皆様のご意見をお聞かせください。

Kitakyushu Action!

動かせ、未来。北九州市

持続可能な地域コミュニティの形成にチャレンジ！



※ビジョン策定に関する情報は
こちらのQRコードを読み込みください。